

次期計画（第3期計画）の基本理念について

1. 現行計画（第2期計画）の基本理念について

- 第2期子ども・子育て支援事業計画（令和2年度から令和6年度）の基本理念は、第1期計画（平成27年度から平成31年度）を踏襲

第1期・第2期計画の基本理念

子どもは地域の宝、みんなで守り育てよう！

- 基本理念の趣旨等

【第1期計画（p.8）より】

- 子どもは、性別・国籍・障がいの有無に関わらず皆「いとご」であり**地域の宝**です。
- 子育ての第一義的責任を果たすべき保護者が、子どもたちの明るくのびやかに育つ姿、好奇心にあふれたたくましい探求心を示す姿に、喜びと期待を持って子育てをしていくためには、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整えるとともに、**地域社会全体で子育てを見守り、支援していくことが重要**です。
- また、「育てよう！」でしめるこの基本理念総括には、Let's（～しよう）という勢い・意気込みが表現されており、文言だけでは終わらない、**行動への強い決意**を含んでいます。

【第2期計画（p.43）より】

- 第1期計画の基本理念を引き継ぐとともに、それらをさらに明確に反映することにより、これからの近江八幡市を支える子どもたちの成長を地域とともに支え、未来に夢と希望のもてるまちをめざします。

2. 次期計画（第3期計画）の基本理念について

- 令和5年度第3回子ども・子育て会議（令和6年3月26日）で、次期計画の策定方針について、次のとおり確認した。
 - 次期計画については、**現計画を継承**しつつ、新たに「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に基づく「市町村計画（子どもの貧困対策計画）」の内容を加える。
- また、次期計画の基本理念について、意見交換を行った。各委員の基本理念に関する意見の**キーワード**は次のとおり。
 - ◇ 地域とのつながりを大切に
 - ◇ 楽しく子育てができる社会
 - ◇ 市民が地域を作っていく
 - ◇ 親が笑顔であれば子どもも笑顔

- ◇ 多様性を大切にしたい
- ◇ 子どもは社会の一員
- ◇ 子どもの意見を表明する力が大事
- ◇ 前向き明るいビジョン
- ◇ 難しさを抱える人も救われるような「大丈夫」という温かいメッセージ
- ◇ 誰もが方針について共通して認識できる
- ◇ 社会全体で子育てをする

3. 基本理念（案）

- 現行計画の基本理念を継承しつつ、新たに加わる「子どもの貧困対策に関する計画」の要素や、子ども・子育て会議における委員の意見を踏まえて作成

**こどもは地域の宝であり社会の一員、
全てのこどもが健やかに自分らしく成長できるまちをつくらう！**

【注釈】

（1）「地域の宝」とは

前期計画における、「子どもは、性別・国籍・障がいの有無に関わらず皆「いとしご」であり地域の宝」という考えを踏襲。

（2）「社会の一員」とは

委員の意見を踏まえ、こどもは、「宝」として守られるだけでなく、社会を構成する一員であるということを表現。

（3）「全てのこどもが健やかに自分らしく成長できる」とは

今回、「子どもの貧困対策に関する計画」の要素が新たに加わることを踏まえ、こども大綱におけるこども施策の基本的な方針④「良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする」を参考に、委員の意見の多様性やこどもが権利の主体であることを表現。

（4）「まちをつくらう！」とは

委員の意見を踏まえ、自分らしく成長できるまちづくりは、親だけでなく、地域社会全体で取り組むべきものであること考えを含み、前期計画における**行動への強い決意**を踏襲。